

第3回千葉市新基本計画審議会 議事要旨

- 1 日 時 令和3年11月10日（水）10時00分～11時30分
- 2 場 所 オークラ千葉ホテル 3階 「エリーゼ」
千葉市中央区中央港1-13-3
- 3 参加者 《委員》34名（五十音順）
秋元 裕子委員、浅野 幸子委員、石河 勲委員、市田 誠委員、市橋 民子委員、
岩崎 久美子委員、梅澤 孝之委員、江波戸 正子委員、小川 順子委員、柿沼 靖委員、
加藤 康幸委員、鏑木 憲子委員、菊地 端夫委員、倉阪 秀史委員、斉藤 浩司委員、
貞広 斎子委員、島田 利美委員、仙波 慶子委員、添田 智恵委員、高梨 園子委員、
高山 功一委員、角田 愛子委員、轟 朝幸委員、長岡 正明委員、中島 陽一委員、
成田 智子委員、林 曉甫委員、細田 美和子委員、松永 哲也委員、森川 博之委員、
若狭 健委員、和田 勝紀委員、渡部 茂樹委員、渡邊 真由委員
（欠席者 秋田 典子委員、大森 康雄委員、近藤 利砂委員、斎藤 博明委員、
下河原 忠道委員、鈴木 雅之委員）
《事務局》13名
峯村総務局長、安部情報経営部長、神崎総合政策局長、米満財政局長、青柳都市局長、
藤代中央区長、折原花見川区長、宍倉稲毛区長、齊木若葉区長、小池緑区長、
曾我辺美浜区長、堺総合政策部長、溝岡政策企画課長
- 4 議 題
（1）千葉市基本計画（原案）総論について
（2）その他
- 5 議事概要
（1）千葉市基本計画（原案）総論について
・第2回千葉市新基本計画審議会における意見（総論第4章～第5章）への対応の方向性について、事務局より説明を行った。
・総論に対する答申案（中間とりまとめ）について、事務局より説明を行った。
（2）その他
・今後の開催スケジュール・議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

6 会議経過

～以下、議事要旨～

議題（１）千葉市基本計画（原案）総論について

（事務局）第2回千葉市新基本計画審議会における意見（総論第4章～第5章）への対応の方向性について、資料1・資料2をもとに、事務局より説明を行った。

倉阪委員 原案P.32「地球温暖化による影響」について、事前意見として出した「省エネルギーや再生可能エネルギー等の脱炭素化投資を進める」という文言を反映していただき感謝します。

轟会長 脱炭素化は、市民一人ひとりが我慢すれば達成できるわけではなく、2050年までに、建設投資あるいは耐久消費財で省エネ型のものを投資するといった取組を通じて達成していく必要があります。その観点から、環境部局が普及啓発するだけではなく、産業部局が自分事として考えて達成していく必要があります。そういった認識を基本計画に加えるため、事前に意見を出ささせていただきました。

資料1中、事務局の回答に検討中という箇所がありましたが、次回、第4回が全体会の最後になるため、それまでの間に内容が大きく変わることがあれば、途中で確認が必要かと思えます。その取扱いについて、事務局から説明をお願いします。

濤岡政策企画課長 内容が変わる部分も出てくると思いますので、修正が完了次第、委員の皆さまに確認いただき、また、意見を出していただく機会を設けたいと考えています。

和田委員 人口減少への対応策として、外国人の入国・居住の関係について、国も含めてビザやワーキング条件など今後対応してほしいと思います。

（事務局）総論に対する答申案（中間とりまとめ）について、資料3をもとに、事務局より説明を行った。

<意見交換>

渡部委員 答申案4について、「みんな」という中に、障害のある方・ない方、男性・女性、高齢者・若者、すべての人々が含まれるイメージがあると良いと思います。千葉市は、4競技のパラリンピックを開催した都市であるため、そのレガシーとして、特に障害のある方もない方もといった表現があると良いと感じました。

貞広委員 答申案5について、不確実性が高い社会であるからこそ、変化を吸収できるような計画にするべきという森川委員のご意見は、大変重要な指摘かと思えます。その上で、具体的なデータに基づき、施策を企画・立案して計画を推進していく、また、そのデータやファクトに基づき、進捗状況・効果を検証し、柔軟に計画を変えていくという、「検証」についても文言を追加すると良いと思います。

市田委員 答申案5について、計画を推進する上で、市民が将来に安心を感じられるよう、財政や予算面もきちんとやっていくといった記述を追加すると良いと思います。

また、何かトラブルや困りごとがあった際に、市だけではなく、国や県と一体となって市民を安全安心に守っていくということを強調していただければと思います。

林委員 答申案4について、計画を作るうえでのロジカルな部分に加え、千葉に関わることが楽しい、千葉を自分たちでつくっていくという、市民がポジティブなマインドになる部分も必要ではないかと思えます。

これからSDGsや脱炭素社会の実現など難しい課題にチャレンジしていかなければならないからこそ、みんなで楽しみながら進めようということを出していくことが、今後の市民のモチベーションの面でも非常に大切だと思います。

菊池委員 今回の基本計画策定にあたっては、様々な形の市民参加の取組が、前回よりも量・質ともにバージョンアップされています。例えば、将来のまちづくりについて楽しみながら語るワールドカフェの手法を市民・有識者等と行っています。

また、素案に対する市民意見募集を行い、この審議会でも公募委員の方の意見を取り入れて案を決め、さらにパブリックコメントを行うという形で、市民の意見を二重三重で取り入れる取組をしています。

こうした策定のプロセスについても、本文の策定の趣旨の手前あるいは付属文書といった形で組み入れていただければと思います。

なお、この内容について、答申文に入れるか、計画本文の中に入れるかの判断はお任せします。

岩崎委員

答申案2（4）について、「教育の視点」という箇所にも、学習という言葉を入れていただきたいと思います。

教育は意図的な営みであり、何か目的を持って行うことですが、市民性という形から考えると、「学習」も併置したほうが望ましいと考えます。

中島委員

緑区でNPOをしている関係から、市民のまち参加のイベントをやっていますが、千葉市の中でもそういった活動が多いことを知りました。今回、区ごとの特色を打ち出していますが、その先を見据え、横の交流というのも今後、実施していきたいと思います。

秋元委員

全体的には他の委員の皆さまの意見に賛同する部分が多かったところです。

それ以外の部分では、第4章の「みんなで目指す未来の千葉市」が位置づけられており、表現の問題で非常に文学的なものかもしれませんが、「目指す」という言葉について、平仮名と漢字が両方使われています。1章は平仮名が多く、他の章はほとんど漢字が使われているので、意図してそうしているのか、あるいは統一をしたほうがいいのか気がなりました。

また、4章の始めに「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし」というものが大項目としてあり、これは、みんなでこの目標を目指し、各区が特徴や特性を活かしながら取り組むことで、それぞれの輝きが集合体となって、千葉市全体が輝いていくということだと思いますが、市民目線で見ると、一体感がないように感じました。

市全体の目指す姿を決めた後、その先を読み進めると、区の要素が強くなってきてしまうため、最終的に「目標は何だったか」と迷ってしまった部分がありました。例えば、ヘッダーに「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・ちばし」を入れるなど、常に市民が、最終目標を認識できる工夫があると良いのではないかと思います。

添田委員

このような会議に参加させていただくのが初めてで、皆さまのご意見を聞いて、非常に考えさせられる部分が多く、学ばせていただいています。

気になる点としては、全体に関わることとして、夢を語る場所がもう少しあったほうが良いのではないかと思います。やはり、このような計画は市民には難しく、会議の中で、委員の皆さまからやわらかく、分かりやすく説明していただいて、だいたい分かるようになってきたところです。

また、もう少し前向きに取れるような表現があると良いと思います。

成田委員

私もこのような会議に初めて参加させていただくのは初めてで、非常に勉強させていただいているところです。

計画の中に、言葉としても、多様性、みんなで認め合い、理解するということを記載していただいております、ありがたく思っています。

先ほど渡部委員から、障害のある方・ない方すべての方々という表現を入れてはどうかという意見がありましたが、私としても検討いただけるとありがたく思います。

梅澤委員

多様性の部分は、今後、非常に重要なものになると思いますが、根本的な部分は一人ひとりが輝ける部分ではないかと感じており、一人ひとりの個性があることを、みんなが多様性として尊重できることが非常に大事だと思います。

「みんなでめざす未来の千葉市」は非常に共感でき、良いと思いますが、根底にあ

る、「自分が輝ける」、「あなたが輝ける」という部分が大前提ではないかと思ひます。

若狭委員

答申案について、1の「計画の目的や位置づけが市民により明確に伝わるよう工夫すること」という部分の(1)に、「平易かつ適切な文章やデータを用い、市民にとってわかりやすい記述とすること」と記載されているところに非常に共感しています。

多様な主体の方々を巻き込んでこの計画を進めるにあたっては、その多様な主体の方々にとって、この総論自体、もしくはこの総論からさらに発展して作られる市民向けの資料が、もう少しデザイン的にも見やすさや、受け入れやすさを考えたものになっていると良いかと期待しています。

やはり、このような資料は読み込むのに時間もかかりますし、普段見なれない構造のものなので、もう少しデザイン的にも読みやすく工夫し、市民向けの資料にバージョンアップされると良いと思ひます。

浅野委員

P46に、前回の委員の方から意見を踏まえ、全市的に災害に強いまちという表現が追記されていますが、災害に強いまちと言い切って良いのか、不安な部分もあります。どのような表現が相応しいかは検討が必要ですが、もう少し別の表現ができると良いのではないかと思ひました。

やはり、危険な地域は存在し、郊外部であれば、比較的災害に対応しやすい状況もあるかと思ひますが、都心部はかなりリスクがあると思ひます。

いずれにしても、地震の揺れやすさや、近年の台風などの影響等を見ると、災害に強いまちであると言い切ってしまうのは、少し良くないような気はしました。

菊地委員

先ほどの添田委員と若狭委員からのご意見と関連して、現行の新基本計画では子供向けの資料として、紙で組み立てることができるものを作っているのを拝見しましたが、今回の計画では、YouTubeや動画という手段を使ってはどうかと思ひます。

デザイン性も含めて、様々な形での広報の仕方があり得ると思ひており、例えば最近では、地方創生のロールプレイングゲームを作っている自治体などもあります。

計画を広めていく手法についても、市民と共同で進めていくということも含めて検討していただくとありがたく思ひます。

石河委員

第1回でも意見しましたが、答申案3(1)について、人口減少は仕方がないと捉えているように思ひます。社会的に見れば当たり前かもしれませんが、本市において、それを前提としてよいのかという感じがします。

答申案では、人口減少に対して転入者で補うといった書き方に感じますが、根本的には、転出者を抑制することが大切だと思ひます。特に、生産年齢人口の世帯が転出しない千葉市にしていく、その上で、更に転入者を呼び込み、人口増加に繋がる取組み・施策を盛り込んでいく対応を望みたいと考えています。

千葉県内の流山市のように人口が増えている市もあるため、最初から人口減少するのが当たり前とするのは良くないと思ひ、その視点で検討いただきたいと思ひます。

長岡副会長

高齢化が進む2025年問題があり、福祉の部分に、地域包括ケアシステムの関係性をどう位置付けるかについて入れ込んだ方が良くないと思ひます。千葉市では、地域支え合いまちづくりを立ち上げて検討しているため、それとの関係性も示すと良いと思ひます。

細田委員

審議会への参加を通じて非常に勉強になることが多く、特に首都圏の中での千葉の位置付けを明確にという議論は、非常に参考になっています。全国で千葉を発信していくときに、首都圏・全国で共通の課題もある一方で、千葉だからこそというところ

は特に注目するところです。都市の活力と、浜辺や緑といった自然が共存している未来都市という位置づけは、非常に分かりやすいと思っています。

先ほど動画を作成して色々な方々に発信するという話がありましたが、見ていただいた方にワクワクしてもらうためには、人の背景や物語が見えるということが、人の心を動かす、響かせるポイントだと思います。前にも、人の顔が見える計画にという意見がありましたが、本当に賛成でして、これから動画や資料を色々な方に伝えていく上で、その観点を考えていただきたいと思っています。

市橋委員

先ほど副会長からも意見がありましたが、地域包括ケアシステムについての記述についてです。超高齢化社会を迎えるにあたり、千葉市でも地域包括ケアシステムの充実を十分望んでいると思いますので、その部分について強調して表現していただければと思います。医師会、歯科医師会とも共同して取り組んでおりますので、ぜひよろしく願いいたします。

堺総合政策部長

ありがとうございます。非常に多くのご意見をいただき、また委員の皆様の思いを感じさせていただいたと考えております。

まとめてのお答えになりますが、基本的な対応姿勢として、できるだけ審議会の委員の皆様の思いが、答申にあらわれた方がよろしいと考えておりますので、何らかの形でできるだけ盛り込んでいきたいと考えております。

多様性に関するご意見を多くいただきましたし、具体的な行財政運営に関するデータに基づく検証や財政に関するご意見、あるいは国・県との連携に関するご意見、これらについては、本文にも記載しているものもございますけれども、もう一度、我々としても整理したいと考えております。

ご意見のうち、楽しくまちづくりに参加することや、夢のある計画に関する部分は、本文の中にあまり表現がないと考えておりますので、どのように反映できるかを考えたいと思います。

その他、非常に多くのご意見をいただいておりますので、持ち帰りまして対応を検討して参りたいと思います。

斉藤委員

先ほど薬剤師会の先生からもご意見がありましたように、地域包括ケアの記述を充実させていただければと思います。

今回は総論についての議論であり、個別分野については、この後の部会で検討されると思いますので、またその際に発言をさせていただきたいと思います。

総論については、委員の皆さん方のご意見を聞かせていただき、本当にその通りだと感じており、大変勉強させていただいている次第でございます。

森川委員

一人ひとりが、自分事として考えられるようにすることが大切だと思っております。この会議は、非常に多様性のある場になっていると感じました。私は、霞が関の会議に参加することが多いのですが、このような雰囲気での会議は全くないため、大変素晴らしいと感じております。まちづくりにあたっては、繋いで、巻き込んで、新たな価値を作っていく方々がとても大切になると思うので、そのような方々を大切にしていきたいと考えさせられました。

それでは、皆様方のお話を伺いまして、感じたことを、小さいことも含めて、5点ほどお話しさせていただきます。

1 点目は、課題について、特に産業面に関してはデータに基づいて検討することがとても大切で、千葉市の皆さんには RESAS などを、もっとうまく使いこなしていた

だきたいと考えております。すでに使っていただいているのかもしれませんが、産業
連関表などの分析で鉄鋼が域外から稼いでいるという指摘がございましたが、
RESAS を使いこなすと、いろいろなことができると思いますので、マニアのような
職員を育てて、使いこなしていただきたいと思っています。また、逆に **RESAS** が使
いにくいということがあれば、内閣府の方にフィードバックしますので、教えていた
だきたいと考えています。 **RESAS** などを使用して、千葉市の状況がどうなっている
かを、データに基づいて分析できたらいいと思います。

2 点目は、市民からのアイデアの収集箱やお困りごと相談所みたいなどころがある
と思いますけれども、情報を吸い上げるだけではなく、その吸い上げた情報を分析す
るのがとても大切だと思います。コールセンターも、そこで対応するだけではなく、
集まってきた声が次のビジネスに繋がっていきますので、それをどう使いこなしてい
くのか、それが重要だと思います。是非、収集した情報の活用についても、お願いで
きればというふうに思っております。

3 点目は、今日の審議会でも、もしかしたらご参加いただいているのかもしれませんが、
デザインをバックグラウンドとする方に参加してもらっても良いと思っています。
最近、僕らもデザイナーの方々と一緒に議論していく機会がかなり増えてきました
ので、そのような方々も含められれば良いと思っています。

4 点目は、コンテンツのお話で、どなたかが **YouTube** のお話をされましたが、**BUZZ**
MAFF というサイトがございます。これは、すでにご存じの方もおられるかもしれま
せんが、農水省がやっているサイトで、農水大臣の記者会見の発表を、音声だけさつ
ま弁に変えて話をさせるなど、いろいろとぶっ飛んだことをやっていて、一部では農
水省の印象がかなり変わったと言われることもありますので、千葉市でも、そういう
能力のある方がおられれば、そのようなことに取り組んでも面白いと思いました。

5 点目は、千葉市ではちばレポという先進的な取組みを以前から実施しており、素
晴らしいと思っておりましたが、一部に、数万円などの賞金を出すコンテスト形式み
たいなものも導入できれば面白いと思っています。

今、東京都ではマンホールの管理にコンテストのような仕組みを導入しており、優
勝賞金は 10 万円なのですが、千代田区では、すべてのマンホールをコンプリートす
るため、いろいろな方がマンホールをスマホで撮影して、街のインフラ管理につなげ
ていくという取り組みを行っています。東京都では賞金を出して盛り上がっています
ので、ちばレポも、もしかしたら実施しているのかもしれませんが、コンテンツ形式
にして、賞金が出るような仕組みも、是非お考えいただければというふうに思ってお
ります。

なお、この答申に関しては、一切、違和感などはありませんので、賛成でございま
す。

堺総合政策部長

ご意見ありがとうございます。

長岡副会長をはじめ委員の皆さまから頂いた、地域包括ケア、福祉の関係のご意見
について、今後の部会での審議も含め、全体の議論の中でどのように充実を図ってい
けるか検討して参ります。

また、森川先生から非常に多くの珠玉のアイデア・アドバイスを頂戴したと思っ
ています。我々も実際に **RESAS** の活用はしていますが、森川先生からご指導いただいた
スマートシティの関係も含めて、これからというところが多々ありますが、頑張っ

いきたいと思います。

なお、先ほど菊地先生からご紹介いただきましたが、今回の基本計画策定にあたっては、非常に多くの市民参加を、我々としても力を入れ、期間をかけてやらせていただきました。そのことについて、現行の計画では参考資料として載せておりますが、今回どのように紹介するかについて合わせて検討して参りたいと考えています。

議題（２）その他

（事務局）今後の開催スケジュール・議事録の確定方法について、事務局より説明を行った。

特に意見なし。

—閉会—